

給与所得者異動届出書の記載例 普通徴収に切替え

◎残額を普通徴収（個人で納付する方法）に切替える場合は、下記のとおり記入してください。次ページの注意事項を必ずご確認ください。

※注2 参照

給与支払報告書・特別徴収に係る給与所得者異動届出書

年 度

1. 現年度 2. 新年度 3. 両年度

◎異動があった場合は、すみやかに提出してください。

(あて先) 長泉町長あて 令和○年○月○日提出	(特別徴収義務者) 給与支払者	所在地	〒○○○-○○○○ 長泉町中土狩○○番地										特別徴収義務者 指 定 番 号	1234567		
		フリガナ	マルマルショウジ										宛 名 番 号	9876543		
		氏名又は名称	○○商事 株式会社										担 連 当 絡 者 先	所 属	給与係	
		個人番号 又は法人番号	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2
←個人番号の記載に当たっては、左端を空欄として右詰めで記載													電 話	○○○-○○○-○○○○ 内線 (○○○)		

給 与 所 得 者	フリガナ	シズオカ イチロウ		(ア) 特別徴収税額 (年 税 額)	(イ) 徴収済額	(ウ) 未徴収税額 (ア) - (イ)	異 動 年 月 日	異 動 の 事 由	異動後の未徴収 税額の徴収方法											
	氏 名	静岡 一郎																		
	生 年 月 日	昭和・平成	1	年	11	月	11	日												
	個 人 番 号	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1							
	受給者番号	※受給者番号がある場合に記入																		
	1月1日 現在の住所	長泉町下土狩○○番地																		
	異動後の 住 所																			
				60,000	円	25,000	円	35,000	円											

「指定番号」「宛名番号」の欄には、通知書に記載された番号を必ず記入してください。

1. 特別徴収継続の場合 (記載不要)

※注1 参照

2. 一括徴収の場合 (記載不要)

3. 普通徴収の場合

理 由	1. 異動が令和○年12月31日までで、一括徴収の申出がないため 2. 令和△年5月31日までに支払われるべき給与又は退職手当等の額が未徴収税額(ウ)以下であるため 3. 死亡による退職であるため	※市町村記入欄
-----	--	---------

<異動届記載にあたっての注意事項>

○注1 (ア)年税額、(イ)徴収済額、(ウ)未徴収税額の記載方法

例) 10月31日に退職となり、11月分以降を普通徴収(個人での納付)に切替える場合

年税額	6月分	7月分	8月分	9月分	10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	3月分	4月分	5月分
60,000円	5,000円	5,000円	5,000円	5,000円	5,000円	5,000円	5,000円	5,000円	5,000円	5,000円	5,000円	5,000円

↓

(ア) (イ)徴収済額 25,000円 (ウ)未徴収税額 35,000円 (普通徴収に切替える額)

※年税額及び月割額については、特別徴収税額通知に記載されています。

○注2 年度について

1月～5月に提出された異動届については、両年度に○がされている場合、新年度(6月分～)も異動処理を行います。

現年度のみに○がついている場合は、新年度は給与支払報告書のとおり処理を行います。(別途新年度用の異動届の提出があった場合は除く)

新年度のみに○がついている場合は、現年度(～5月分)の異動処理は行いません。

6月～12月に届出があったものは原則現年度のもののみ異動処理を行います。遡及して異動処理をご希望する場合等は詳細を欄外等にご記入ください。

※両年度にかかる異動で、両年度で課税自治体異なる場合、お手数ですが届出を両方の自治体にご提出ください。